

令和7年度第1回名護市地域公共交通協議会 議事録

日時:令和 7 年 6 月 2 日(月)14時00分より

場所:名護市民会館中ホール及び Web 会議

【報告】

(1) 令和6年度第4回名護市地域公共交通協議会議事録について

全員異議なし。

(2) 名護東線の運行状況について

全員異議なし。

<質疑応答>

番号	委員	事務局・委員回答	対応方針
(2)-1	P1 の「2. 旧名護東線の運行計画の見直しについて」の文章中記載の「～翌日勤務までの休息時間が継続 11 時間以上となった～」は「9 時間以上」が正しい内容である。(事務局)	—	—
(2)-2	夜間1往復の運行について、運賃無料での運行から運賃有料に変更したこと、利用者数の変化はあったのか。有料になって利用者が減少しているということであれば、減便をせざるを得ない便であったということも考えられる。(北部観光バス 宮城委員)	有料になって期間も間もないところではあるが、利用者数にあまり変化がないと報告を受けており、移動手段として必要な方が利用している状況と推測している。(事務局)	—

【資料 1】

(2)-3	「1. (2)収支状況について」において「事業者は 44 百万円欠損が残っていた」と記載があるが、名護市として補助はしていないという理解でよいか。沿線自治体も連携して、事業者の負担を減らすことが路線の維持につながると考えている。(私鉄沖縄県労働組合連合会 喜屋武委員)	名護市としての欠損に対する補助は行っていない。(事務局)	—
-------	--	------------------------------	---

(3) 名護市コミュニティバス(なご丸)利用状況について

全員異議なし。

＜質疑応答＞

番号	委員	事務局・委員回答	対応方針
(3)-1	「P14 分析結果まとめ(羽地・屋我地線)」の「②利 用のされ方 平日 通学(1 便)名護バスターミナル 行きの高校生の各高校周辺のバス停での降車人 数」について、「4.7 人/日」と記載しているが、「5.8 人/日」が正しい内容である。(事務局)	—	—

【議題】

(1) 令和6年度名護市地域公共交通協議会事業報告及び予算について

全員異議なしで承認。

(2) 令和7年度名護市地域公共交通協議会事業計画及び予算について

全員異議なしで承認。

(3) 名護市地域公共交通計画の更新について

下記、質疑応答を経て、計画の微修正を事務局に一任することも含めて承認。

<質疑応答>

番号	委員	事務局・委員回答	対応方針
(3)-1	資料 8 別紙 P4 の※2 および※3 に記載している日付は下記が正しい内容である。(事務局) ・※2 令和 7 年 1 月 14 日より運休中 ・※3 令和 6 年 12 月 2 日より運休中	—	正しい内容に修正のうえ計画の改定版とする。
(3)-2	資料 8 別紙 P7 の羽地・屋我地線の必要性の項目について、国の補助をうけるという観点で、計画を見れば必要性が理解できるように屋我地ひるぎ学園の説明を加筆・修正すること。(琉球大学 神谷委員)	ご指摘の通り、加筆・修正する(事務局)	計画の改定版には屋我地ひるぎ学園の説明を追記する。
(3)-3	計画の記載内容を変更するということではなく、今後の進め方に対する意見だが、利用状況も踏まえたうえで路線維持の意義やその方法を行政・事業者だけでなく市民が議論できるように、市民の目に届く形で収入や経費も報告するように進めていただきたい。(琉球大学 神谷委員)	ご指摘の意見を踏まえて検討を進める(事務局)	住民の目にも届く形で、収入や経費は報告する方針で進める。

(4) 地域公共交通計画認定申請について

申請書の微修正を事務局に一任することも含めて承認。

(5) JUNGLIA開業に伴う AI オンデマンド交通実証実験について

当該の議題については、「ジャパンエンターテイメント・沖縄セルラー電話・Community Mobility」より内容を説明。

下記、質疑応答を経て、修正内容を会長、副会長が精査したうえで進めることを含めて承認。

番号	委員	事務局・委員回答	対応方針
(5)-1	道路運送法 21 条での運行の説明をいただきたい (名護市社会福祉協議会 野原委員)	名護市において、オンデマンド交通がジャングリア開業に伴う交通渋滞の緩和や地域住民の利用促進という観点で地域に適しているかを実証するという位置づけで 21 条での運行としている(Community Mobility)	—
(5)-2	運賃設定に記載の「大人」とは具体的にどのような年齢層を対象としているのか(名護市社会福祉協議会 野原委員)	中学生以上を「大人」、小学生以下を「小児」として取り扱う(沖縄セルラー電話)	—
(5)-3	対象区域にいればだれでも利用できるという理解でよいか。(名護市社会福祉協議会 野原委員)	予約さえすれば誰でも利用できるものである。(沖縄セルラー電話)	
(5)-4	運行間隔を 1 台 1 時間あたり最大 4 便運行としていることの詳細を説明いただきたい(名護市社会福祉協議会 野原委員)	車両や予約枠に空きがあれば 4 便以上でも運行可能であり、4 便というのはあくまでも目安として設定した仮定の数値としてご理解いただきたい(Community Mobility)	—
(5)-5	本実証実験を本協議会で議論する意図は何か(琉球大学 神谷委員)	国土交通省の補助の対象事業として本実証運行が採択されており、今後協議会から交通事業者へ協力要請を行い、交通事業者から沖縄総合事務局へ実証運行の申請を行うという流れになっている。そのため本協議会での承認	今後、協議会が追認する場とするのではなく、実証運行の実施の際でも前もって本協議会で議論できるように、事前に報告・相談のもと検討を進める。

		が必要であり、議題としているものである。(事務局)	
(5)-6	今後、協議会が追認する場とするのではなく、実証実施の際でも前もって本協議会で議論できるように、事前に報告・相談のもと検討を進めていくことが望ましい。(琉球大学 神谷委員)	標準的な進め方は改めて整理した上で円滑な協議が諂られるような形で進めていきたい。(沖縄総合事務局運輸部企画室 亀谷委員)	今後、協議会が追認する場とするのではなく、実証実施の際でも前もって本協議会で議論できるように、事前に報告・相談のもと検討を進める。
(5)-7	実証期間は1年であるが、実証期間終了後の予定をお教えいただきたい(琉球大学 神谷委員)	2年目以降もジャパンエンターテイメントとしては継続予定であるが、民間企業だけの取り組みとせず、北部広域事務組合や名護市と連携しながら事業の継続をしていきたいと考えている。(ジャパンエンターテイメント)	—
(5)-8	住民への周知やアプリの使い方講習など高齢者の移動支援の観点での計画はしているという理解ですか。計画しているのであれば、次回に実施状況は報告いただきたい。(琉球大学 神谷委員)	その予定で進めており、チラシや説明会による周知を予定している。(ジャパンエンターテイメント)	事業の実施状況を次回以降に報告する。
(5)-9	名護市に加え、本部町、今帰仁村も運行対象エリアに入っているように見えるが、本部町・今帰仁村の協議会等に事前に相談のうえ承認いただいているかをお教えいただきたい。(琉球大学 神谷委員)	本部町は運行対象エリアに含まれていない。ヤングリアの住所が今帰仁村であるため、今帰仁村に一部(ヤングリア敷地内)の乗降ポイントを設置している。今帰仁村には協議会がないため、担当部署から本実証実施の承認をいただいている。(ジャパンエンターテイメント)	—
(5)-10	乗降ポイント一覧に施設名が記載されているが、施設内の駐車場等を乗降ポイントとする予定か。安全確保のためにルールや必要な手続きを確認・実施	施設内ではなく、施設付近の公道に乗降ポイントを設定する予定である。名護市警察署に内容は共有しており、事業実施に対し指摘や注	事業実施に向け、安全確保のためにルールや必要な手続きを確認・実施のうえ進める。

【資料 1】

	のうえ進めること。(琉球大学 神谷委員)	意事項はいただいている状況である。(ジャパンエンターテイメント)	
(5)-11	オンデマンドバスの実証実験に際し、観光協会が一般に広報しても良いものなのか。コミュニティバスも含め本事業のデマンド交通も使ってもらうことが重要と考えている。(名護市観光協会 前田委員)	PR はこれからおこなっていく予定であり、観光協会からもぜひ広報いただきたいので連携させていただければ幸いである。(ジャパンエンターテイメント)	—
(5)-12	利用者視点では DiDi や Go Taxi のようなタクシーアプリと同様の使い勝手であると理解すればよいか(名護市観光協会 前田委員)	その認識で相違ない(ジャパンエンターテイメント)	—
(5)-13	オンデマンドバスが満席となることはあるのか(名護市観光協会 前田委員)	現時点では予想できないが、利用者が集中するポイントや時間帯は実証実験を重ねていくなかで見出して、改善を試行錯誤していくと考えている。(ジャパンエンターテイメント)	—
(5)-14	高齢者の利用料金は、設定している 500 円より低くすることは想定しているのか。(名護市老人クラブ連合会 宮城委員)	現時点では想定していない。すべての移動を担うことは難しいと考えており、他の交通手段も含めて最適な移動手段を選択いただければと考えている。既存の交通手段と共に存できる状況が望ましいと考えているので、いただいた意見も参考にしながらサービスをより良いものにしていきたい。(ジャパンエンターテイメント)	—
(5)-15	協議会から運行事業者への協力要請を行うにあたっての協力要請文(案)を承認いただけるか(事務局)	ヤングリア開業に伴う渋滞緩和のための事業ではなく、地域の足を確保するなどの観点を持った事業であるという旨の内容に修正することが望ましいと考える。(琉球大学 神谷委員)	協力要請文(案)は会長・副会長が修正後の内容を精査・調整のうえ提出するようにする。

【資料 1】

	<p>ご指摘の内容を反映する変更が可能かを含め沖縄総合事務局と確認・調整のうえ、ご指摘の内容を反映させたい。(事務局)</p> <p>協力要請文(案)は会長・副会長が修正後の内容を精査・調整のうえ提出することで承認とする。(名護市 副市長 金城会長)</p>	
--	---	--

<次回の会議等について事務局から連絡>

- ・ 次回開催日の日程調整について、送付させていただく日程調整表に回答いただきたい。開催日は決定し次第周知する。(事務局)